

VIII. 介護サービス事業所調査結果

1. サービス事業所の分類について

介護サービス事業所調査は、類似するサービス区分のごとに「訪問系」「通所系」「入所系」「居宅介護支援事業所」の4つの区分で結果を表示している。

図表 458 【事業所のサービス類型について】

区分	サービス
訪問系	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護
通所系	通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護看護小規模多機能型居宅介護
入所系	短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所

2. 各設問の結果

① サービス事業所について

問2 貴事業所が現在実施しているサービスは、次のうちどれですか。(1つだけ選択)

※問1は事業所名を記載する設問のため、報告書には掲載しない。

全体では、「居宅介護支援事業所」が26.0%と最も高く、「地域密着型通所介護」が20.3%、「訪問介護」が13.8%、「通所介護」が7.7%、「認知症対応型共同生活介護」が6.9%、「訪問看護」が5.7%、「介護老人福祉施設」が4.9%、「特定施設入居者生活介護」が3.3%、「介護老人保健施設」が2.4%、「小規模多機能型居宅介護」が2.0%と続いている。

サービス区別では、訪問系では「訪問看護」、通所系では「地域密着型通所」、入所系では「認知症対応型共同生活介護」の割合が高い。

図表 459 【事業所で実施しているサービスについて】

(%)

	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	246	54	80	48	64
訪問介護	13.8	63.0	0.0	0.0	0.0
訪問入浴介護	1.6	7.4	0.0	0.0	0.0
訪問リハビリテーション	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0
訪問看護	5.7	25.9	0.0	0.0	0.0
通所介護	7.7	0.0	23.8	0.0	0.0
通所リハビリテーション	0.8	0.0	2.5	0.0	0.0
短期入所生活介護	1.2	0.0	0.0	6.3	0.0
短期入所療養介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	3.3	0.0	0.0	16.7	0.0
介護老人福祉施設	4.9	0.0	0.0	25.0	0.0
介護老人保健施設	2.4	0.0	0.0	12.5	0.0
認知症対応型共同生活介護	6.9	0.0	0.0	35.4	0.0
地域密着型通所介護	20.3	0.0	62.5	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	0.8	0.0	2.5	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	2.0	0.0	6.3	0.0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.8	0.0	0.0	4.2	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	0.8	0.0	2.5	0.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅介護支援事業所	26.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問3 貴事業所の所在地に該当する日常生活圏域は、次のうちどれですか。(1つだけ選択)

全体では、「(圏域4) 四之宮地区・八幡地区・真土地区」・「(圏域13) 崇善地区・松原地区」が12.6%と最も高く、「(圏域5) 中原地区・南原地区」が12.2%、「(圏域8) 金目地区・土沢地区」が8.9%、「(圏域1) 旭北地区」が8.5%、「(圏域10) 富士見地区」が8.5%、「(圏域2) 旭南地区」が7.3%、「(圏域9) なでしこ地区・花水地区」が6.5%、「(圏域6) 田村地区・横内地区・大神地区」が6.1%、「(圏域7) 金田地区・豊田地区」が6.1%、「(圏域3) 城島地区・岡崎地区」が4.5%、「(圏域12) 港地区」が3.3%、「(圏域11) 松が丘地区」が2.8%となっている。

図表 460 【所属圏域】

(%)

	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	246	54	80	48	64
(圏域1) 旭北地区	8.5	7.4	8.8	12.5	6.3
(圏域2) 旭南地区	7.3	9.3	6.3	8.3	6.3
(圏域3) 城島地区・岡崎地区	4.5	3.7	5.0	8.3	1.6
(圏域4) 四之宮地区・八幡地区・真土地区	12.6	11.1	12.5	12.5	14.1
(圏域5) 中原地区・南原地区	12.2	18.5	13.8	4.2	10.9
(圏域6) 田村地区・横内地区・大神地区	6.1	5.6	6.3	8.3	4.7
(圏域7) 金田地区・豊田地区	6.1	1.9	6.3	8.3	7.8
(圏域8) 金目地区・土沢地区	8.9	9.3	7.5	12.5	7.8
(圏域9) なでしこ地区・花水地区	6.5	1.9	6.3	8.3	9.4
(圏域10) 富士見地区	8.5	5.6	10.0	4.2	12.5
(圏域11) 松が丘地区	2.8	5.6	1.3	4.2	1.6
(圏域12) 港地区	3.3	3.7	2.5	2.1	4.7
(圏域13) 崇善地区・松原地区	12.6	16.7	13.8	6.3	12.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問4 平塚市において、事業所、定員など、量的に不足していると感じる介護サービスはつぎのうちどれですか。(あてはまるものすべて選択、あてはまるものがない場合は「なし」を選択)

全体では、「訪問介護」が32.1%と最も高く、「なし」が29.7%、「夜間対応型訪問介護」が19.5%、「訪問リハビリテーション」が13.0%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が12.6%、「短期入所生活介護」が10.6%、「認知症対応型通所介護」が8.9%、「介護老人福祉施設」が8.5%、「介護医療院」が7.7%、「訪問入浴介護」が7.3%、「認知症対応型共同生活介護」が7.3%と続いている。

居宅介護支援事業所では、「訪問介護」が56.3%、「夜間対応型訪問介護」が37.5%、「訪問リハビリテーション」28.1%と続き、訪問系が不足していると感じている。

図表 461 【量的に不足していると感じる介護サービス】

(%)

	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	246	54	80	48	64
訪問介護	32.1	40.7	18.8	12.5	56.3
訪問入浴介護	7.3	13.0	1.3	0.0	15.6
訪問リハビリテーション	13.0	9.3	5.0	10.4	28.1
訪問看護	2.8	3.7	2.5	4.2	1.6
居宅療養管理指導	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所介護	2.8	3.7	3.8	0.0	3.1
通所リハビリテーション	4.9	1.9	0.0	2.1	15.6
短期入所生活介護	10.6	14.8	8.8	2.1	15.6
短期入所療養介護	4.9	14.8	1.3	0.0	4.7
特定施設入居者生活介護	2.4	5.6	0.0	2.1	3.1
福祉用具貸与	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0
特定福祉用具販売	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0
住宅改修	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設	8.5	9.3	6.3	8.3	10.9
介護老人保健施設	5.3	7.4	3.8	4.2	6.3
介護医療院	7.7	7.4	2.5	4.2	17.2
認知症対応型共同生活介護	7.3	9.3	7.5	12.5	1.6
地域密着型通所介護	3.3	3.7	7.5	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	8.9	5.6	7.5	4.2	17.2
小規模多機能型居宅介護	2.8	3.7	2.5	4.2	1.6
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1.2	3.7	0.0	2.1	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	6.5	13.0	6.3	4.2	3.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	12.6	14.8	7.5	4.2	23.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.8	3.7	0.0	0.0	0.0
夜間対応型訪問介護	19.5	18.5	10.0	12.5	37.5
居宅介護支援事業所	6.5	11.1	5.0	4.2	6.3
なし	29.7	20.4	43.8	47.9	6.3
無回答	2.0	1.9	1.3	4.2	1.6

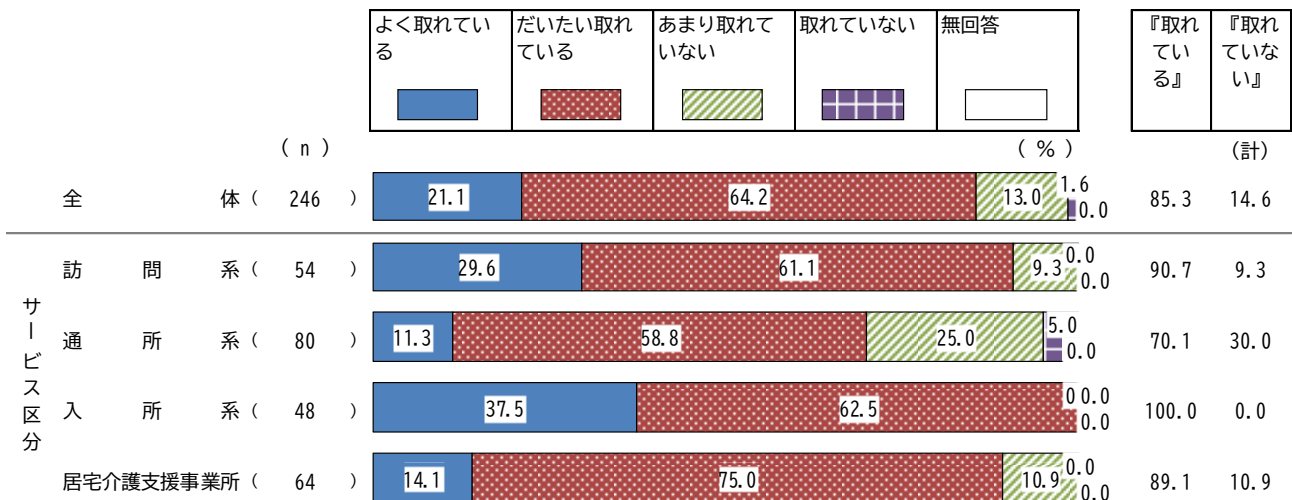
② 医療との連携について

問 5 日頃、医療との連携が取れていると感じますか。(1つだけ選択)

全体では、「よく取れている」が 21.1%、「だいたい取れている」が 64.2%、「あまり取れていない」が 13.0%、「取れていない」が 1.6%となっている。

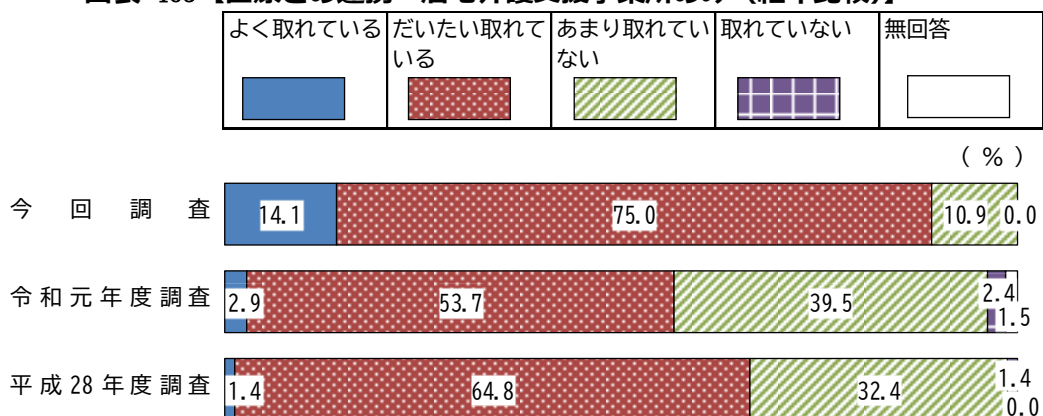
サービス区分別では、入所系で医療との連携が取れている割合が高い。

図表 462 【医療との連携】



医療との連携について、居宅介護支援事業所の経年比較では、「よく取れている」が 14.1%、「だいたい取れている」が 75.0%となっており、令和元年度調査から大きく改善している。

図表 463 【医療との連携 居宅介護支援事業所のみ（経年比較）】



Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問 6 問 5 で「あまり取れていない」「取れていない」を選択した方にうかがいます。医療との連携が取れていない理由は何ですか。(あてはまるものすべて選択)

全体では、「自分自身の医療的な知識が不足している」が 38.9%と最も高く、「医師への連絡調整の日時が合わない」が 30.6%、「医師や看護師の介護保険に対する理解が不足している」が 19.4%となっている。

居宅介護支援事業所では、「医師への連絡調整の日時が合わない」、「医師や看護師の介護保険に対する理解が不足している」の割合が高い。

図表 464 【医療と連携が取れていない理由】

	(%)				
	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	36	5	24	-	7
自分自身の医療的な知識が不足している	38.9	40.0	37.5	0.0	42.9
その他	38.9	40.0	41.7	0.0	28.6
医師への連絡調整の日時が合わない	30.6	20.0	20.8	0.0	71.4
医師や看護師の介護保険に対する理解が不足している	19.4	0.0	16.7	0.0	42.9
無回答	5.6	20.0	4.2	0.0	0.0

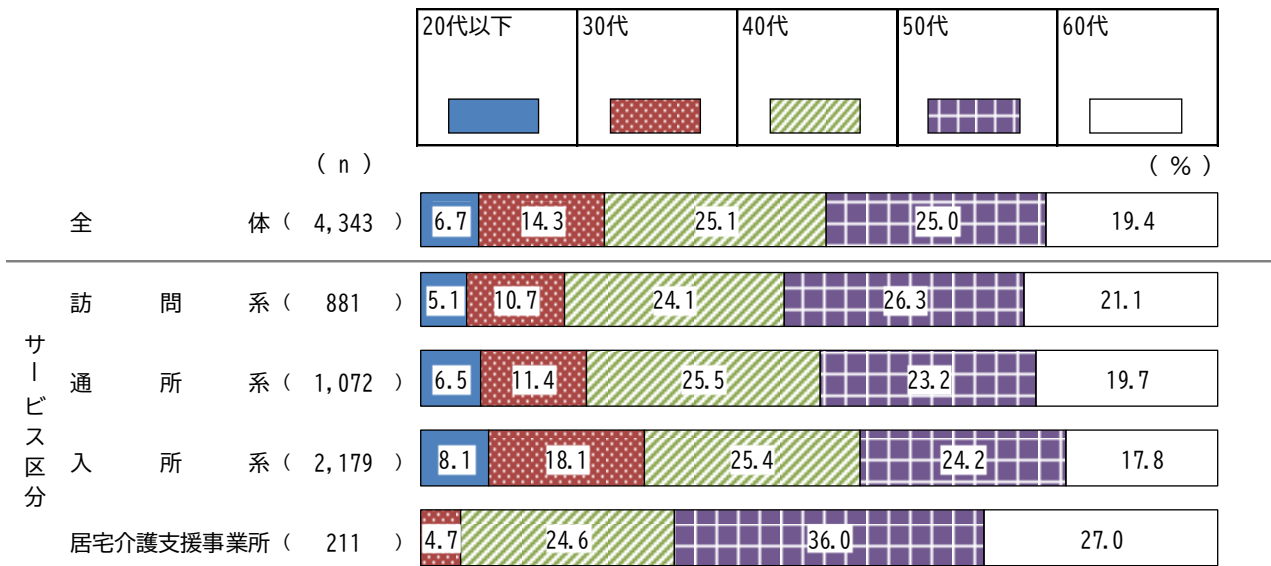
③ 介護人材について

問7 貴事業所に所属する職員数は何人ですか。(正規・非正規合わせた数)

全体では、「20代以下」が6.7%、「30代」が14.3%、「40代」が25.1%、「50代」が25.0%、「60代」が19.4%となっている。

サービス区分別では、居宅介護支援事業所の年齢層が高くなっている。

図表 465 【事業所の所属人数】



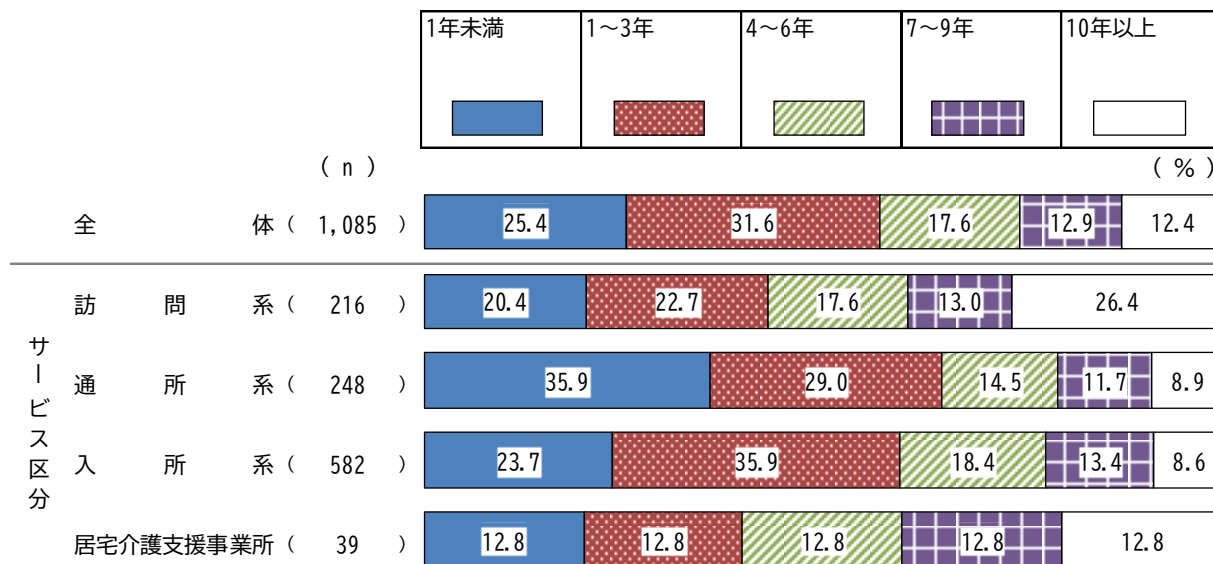
Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問 8 貴事業所での過去 1 年間の離職者数は何人ですか。(正規・非正規合わせた数)

全体では、「1 年未満」が 25.4%、「1～3 年」が 31.6%、「4～6 年」が 17.6%、「7～9 年」が 12.9%、「10 年以上」が 12.4%となっている。

サービス区分別では、通所系、入所系で「1 年未満」「1～3 年」の割合が高くなっている。

図表 466 【事業所での過去 1 年間の離職者数】

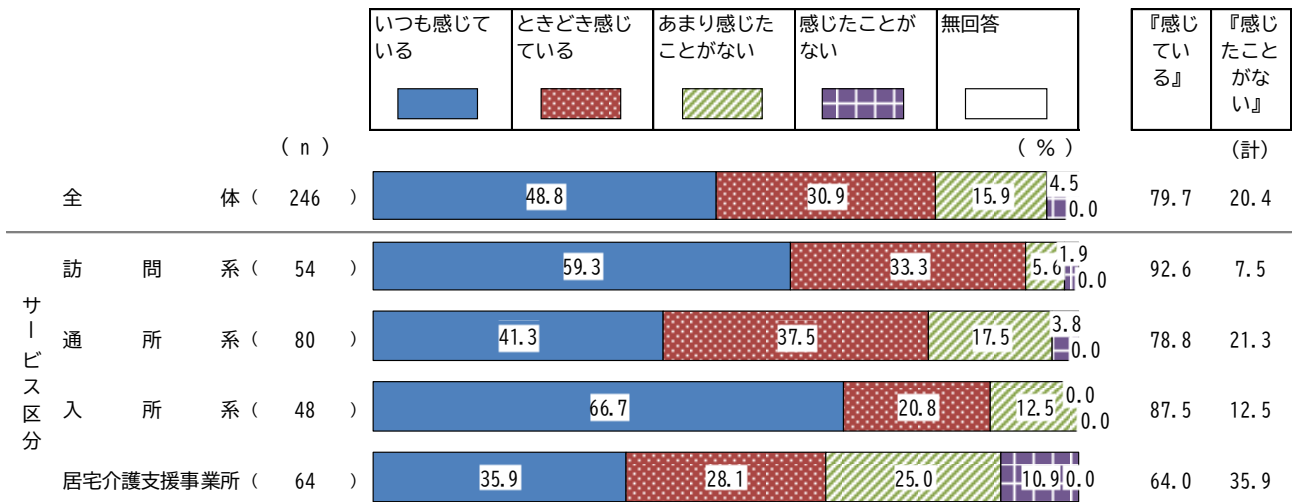


問9 日頃の業務の中で、どのくらいの頻度で人手不足を感じますか。(1つだけ選択)

全体では、「いつも感じている」が48.8%、「ときどき感じている」が30.9%、「あまり感じたことがない」が15.9%、「感じたことがない」が4.5%となっている。

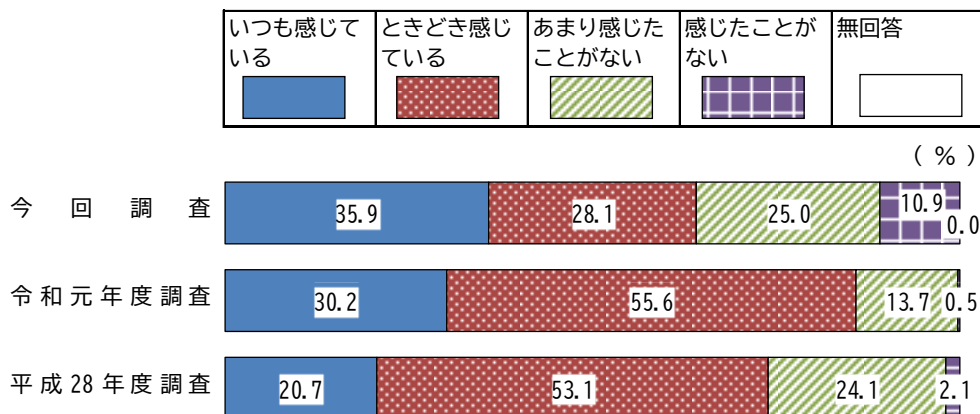
サービス区分別では、訪問系と入所系で「いつも感じている」の割合が高い。

図表 467 【人手不足を感じる頻度】



人手不足を感じるかについて、居宅介護支援事業所の経年比較では、「いつも感じている」が35.9%、「ときどき感じている」が28.1%となっている。「いつも感じている」割合は上昇傾向である。

図表 468 【人手不足を感じる頻度 居宅介護支援事業所のみ（経年比較）】



Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問 10 どのような理由で人手不足を感じますか。(あてはまるものすべて選択)

全体では、「仕事量が多く常に疲労感やストレスがある」が 53.6%と最も高く、「新規で利用者を受け入れる余裕がない」が 30.1%、「残業や休日出勤が多い」が 29.1%、「資格者が、事務や送迎など介護の資格が必要のない業務まで担う必要がある」が 24.5%、「事業所の職員が頻繁に替わる」が 9.7%、「仕事量が多く忙しいので、職場内の雰囲気が悪い」が 8.7%となっている。

サービス区分別では、訪問系、居宅介護支援事業所にて「新規で利用者を受け入れる余裕がない」が5割を越えている。入所系では、「仕事量が多く常に疲労感やストレスがある」の割合が高い。

図表 469 【人手不足を感じる理由】

(%)

	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	196	50	63	42	41
仕事量が多く常に疲労感やストレスがある	53.6	48.0	54.0	71.4	41.5
新規で利用者を受け入れる余裕がない	30.1	52.0	11.1	9.5	53.7
残業や休日出勤が多い	29.1	26.0	39.7	33.3	12.2
資格者が、事務や送迎など介護の資格が必要のない業務まで担う必要がある	24.5	8.0	52.4	9.5	17.1
事業所の職員が頻繁に替わる	9.7	4.0	11.1	21.4	2.4
仕事量が多く忙しいので、職場内の雰囲気が悪い	8.7	2.0	9.5	19.0	4.9
その他	25.0	20.0	25.4	42.9	12.2
無回答	1.5	2.0	1.6	0.0	2.4

問 11 介護人材確保・定着に関する取組みのうち、効果があると思う取組みはありますか。(あてはまるものすべて選択)

全体では、「職場の環境改善に繋がる取組み」が 47.6%と最も高く、「若い世代に向けた介護への理解に向けた取組み」が 46.3%、「介護職員の定着に向けた取組み」が 44.7%、「これから介護業界で働こうと考えている方のための取組み」が 42.3%、「資格取得を目指す方への支援を行う取組み」が 40.2%と続いている。

サービス区別では、入所系で「職場の環境改善に繋がる取組み」、「介護職員の定着に向けた取組み」の割合が、他のサービス区分に比べて高い。

図表 470 【介護人材確保・定着に効果があると思うもの】

(%)

	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	246	54	80	48	64
職場の環境改善に繋がる取組み	47.6	42.6	50.0	62.5	37.5
若い世代に向けた介護への理解に向けた取組み	46.3	48.1	48.8	45.8	42.2
介護職員の定着に向けた取組み	44.7	38.9	41.3	66.7	37.5
これから介護業界で働こうと考えている方のための取組み	42.3	44.4	40.0	45.8	40.6
資格取得を目指す方への支援を行う取組み	40.2	42.6	36.3	45.8	39.1
介護業界の魅力をPRする取組み	28.0	35.2	27.5	22.9	26.6
介護職以外の経理、調理、送迎等の業務のみを行う方(補助人材)が就労するための取組み	17.9	13.0	25.0	18.8	12.5
外国人材確保に向けた取組み	8.1	5.6	11.3	12.5	3.1
その他	12.6	11.1	16.3	16.7	6.3
無回答	3.7	5.6	1.3	0.0	7.8

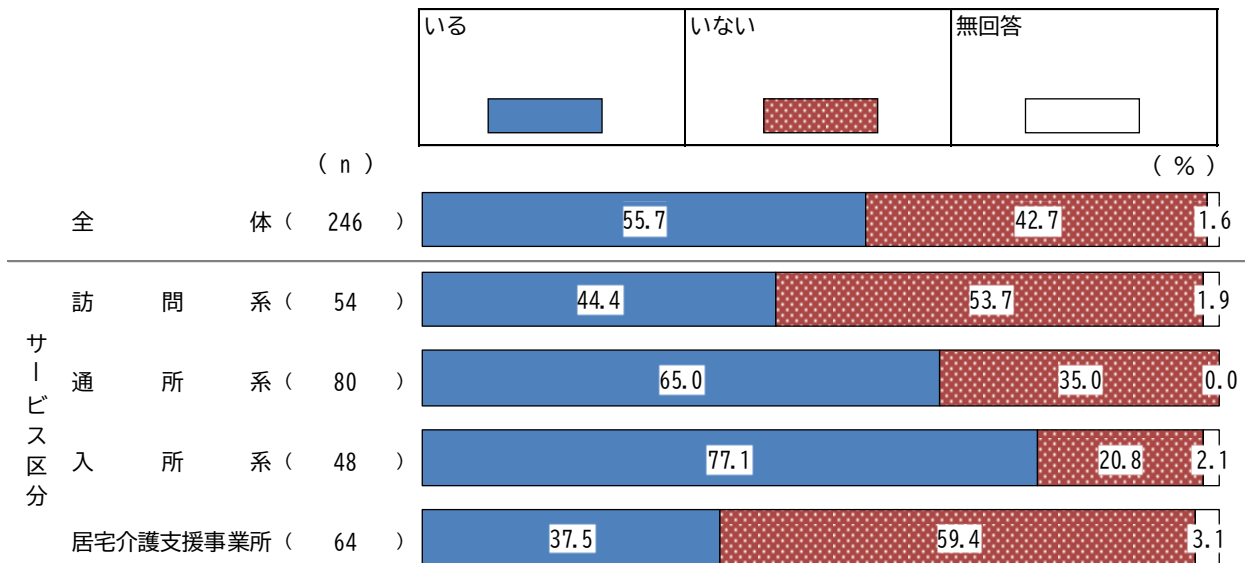
Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問 12 介護職以外の経理、調理、送迎等の業務のみを行う方(補助人材)は貴事務所に従事していますか。(1 つだけ選択)

全体では、「いる」が 55.7%と最も高く、「いない」が 42.7%となっている。サービス区分では、入所系で「いる」の割合が高い。

サービス区分別では、入所系で「いる」の割合が高い。

図表 471 【介護職以外の経理、調理、送迎等の業務のみを行う職員の有無】

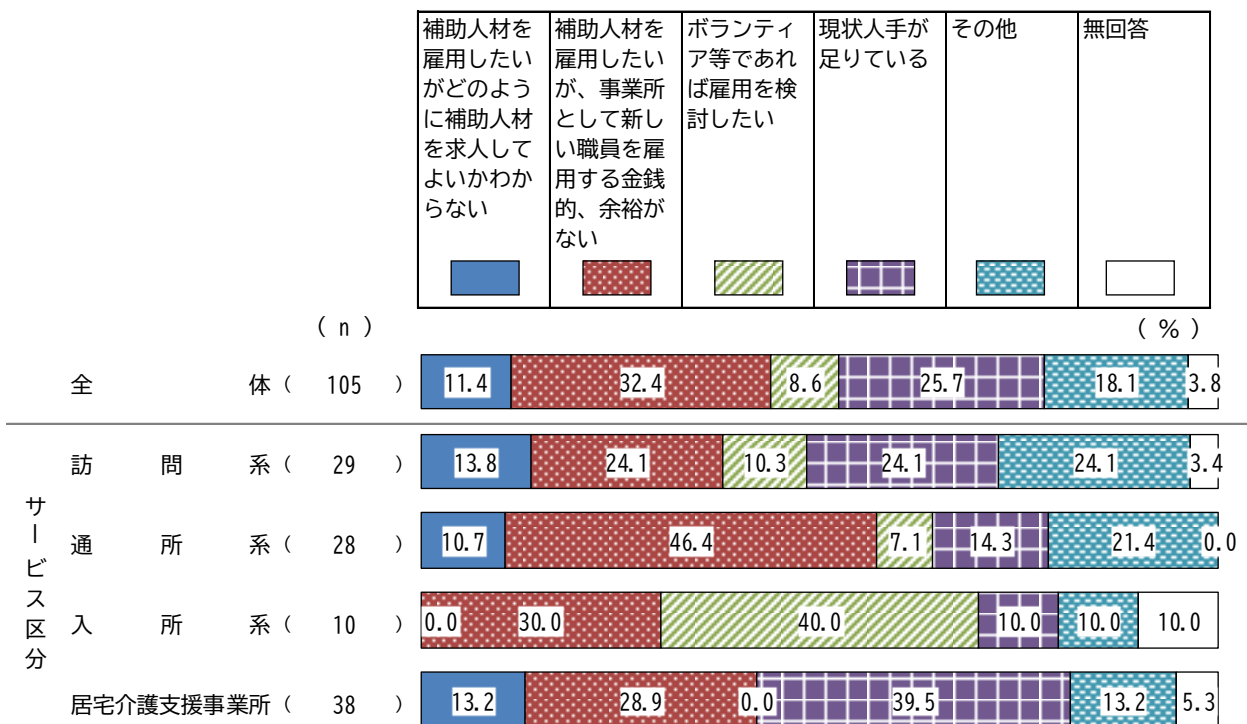


問 13 補助人材の雇用についてどのように考えていますか。(1 つだけ選択)

全体では、「補助人材を雇用したいが、事業所として新しい職員を雇用する金銭的、余裕がない」が 32.4%と最も高く、「現状人手が足りている」が 25.7%、「補助人材を雇用したいがどのように補助人材を求人してよいかわからない」が 11.4%、「ボランティア等であれば雇用を検討したい」が 8.6%となっている。

サービス区分別では、通所系で「補助人材を雇用したいが、事業所として新しい職員を雇用する金銭的、余裕がない」の割合が高い。

図表 472 【補助人材の雇用について】



Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問 14 介護ロボット等の導入やデジタル化を事業所で行う場合、人手不足解消につながると感じるのは次のうちどれですか。(あてはまるものすべて選択)

全体では、「介護記録支援（利用者情報や介護内容の記録、事業所とのやりとりをデジタル化する機器）」が 63.8%と最も高く、「見守り・コミュニケーション（見守りやコミュニケーションなどに活用できる機器）」が 44.3%、「移乗支援（パワーアシスト等利用者の移乗にかかる身体的負担を軽減する機器）」が 26.8%、「排泄支援（排泄物の処理、衣服の着脱など排泄介助にかかる負担を軽減する機器）」が 23.2%、「入浴支援（浴槽の出入り動作にかかる負担を軽減する機器）」が 21.5%、「移動支援（歩行アシストカート等利用者が自身で移動する際の負担を軽減する機器）」が 15.9%となっている。

サービス区別では、居宅介護支援事業所で「介護記録支援」の割合が高く、入所系で「見守り・コミュニケーション」の割合が高い。

図表 473 【介護ロボット等の導入やデジタル化が人手不足解消につながると感じる介護サービス】

(%)

	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支援事業所
調査数	246	54	80	48	64
介護記録支援（利用者情報や介護内容の記録、事業所とのやりとりをデジタル化する機器）	63.8	63.0	62.5	54.2	73.4
見守り・コミュニケーション（見守りやコミュニケーションなどに活用できる機器）	44.3	38.9	47.5	56.3	35.9
移乗支援（パワーアシスト等利用者の移乗にかかる身体的負担を軽減する機器）	26.8	33.3	28.8	31.3	15.6
排泄支援（排泄物の処理、衣服の着脱など排泄介助にかかる負担を軽減する機器）	23.2	20.4	20.0	33.3	21.9
入浴支援（浴槽の出入り動作にかかる負担を軽減する機器）	21.5	18.5	20.0	33.3	17.2
移動支援（歩行アシストカート等利用者が自身で移動する際の負担を軽減する機器）	15.9	11.1	16.3	22.9	14.1
無回答	9.3	13.0	5.0	8.3	12.5

問 15 事業所で介護ロボット等の導入やデジタル化をするにあたり、課題となっていることはな
 んですか。(あてはまるものすべて選択)

全体では、「効果があったとしても、設備環境を整えるコスト面で導入するのが困難である」が
 71.5%と最も高く、「介護ロボット等の導入やデジタル化を行う方法がわからない」が 20.7%、
 「介護ロボット等やデジタル機器の使い方がわからない」が 20.7%、「メリットを感じないため導
 入しようと思わない」が 11.8%となっている。

サービス区分別でも、「効果があったとしても、設備環境を整えるコスト面で導入するのが
 困難である」の割合が高い。

図表 474 【介護ロボット等の導入やデジタル化の導入で課題になっていること】

	(%)				
	全体	訪問系	通所系	入所系	居宅介護支 援事業所
調査数	246	54	80	48	64
効果があったとしても、設備環境を整えるコスト面で導 入するのが困難である	71.5	74.1	73.8	85.4	56.3
介護ロボット等の導入やデジタル化を行う方法がわから ない	20.7	16.7	20.0	20.8	25.0
介護ロボット等やデジタル機器の使い方がわからない	20.7	18.5	20.0	27.1	18.8
メリットを感じないため導入しようと思わない	11.8	13.0	16.3	6.3	9.4
その他	8.5	7.4	7.5	6.3	12.5
無回答	6.5	7.4	3.8	2.1	12.5

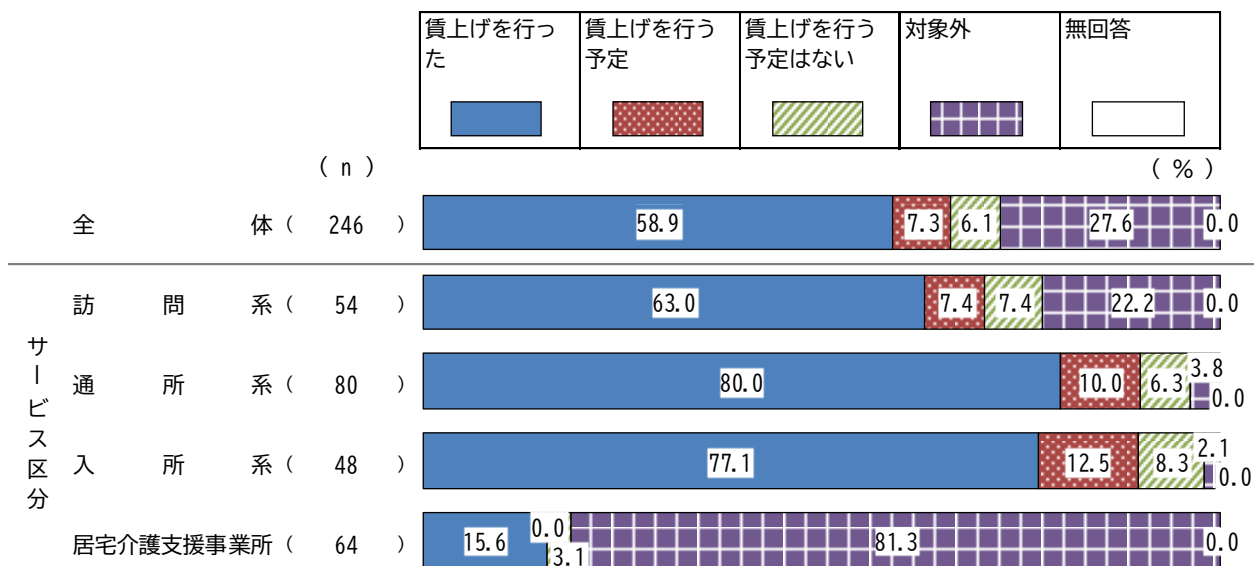
Ⅷ 介護サービス事業所調査結果

問 16 令和 4 年 2 月～9 月の介護職員処遇改善補助金(令和 4 年 10 月～のベースアップ加算)を活用し、介護職員等の賃上げを行いましたか。(1 つだけ選択)

全体では、「賃上げを行った」が 58.9%、「賃上げを行う予定」が 7.3%、「賃上げを行う予定はない」が 6.1%、「対象外」が 27.6%となっている。

サービス区分別では、通所系の賃上げ割合が高い。

図表 475 【介護職員等の賃上げを行ったか】

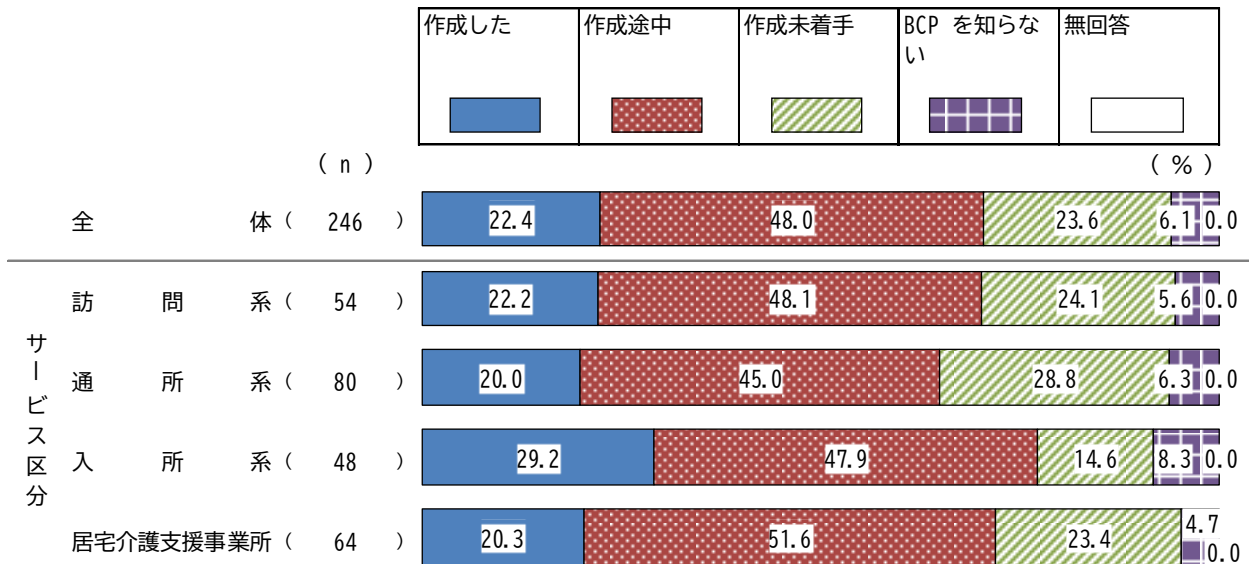


問 17 BCP(事業継続計画)は作成しましたか。(1 つだけ選択)

全体では、「作成した」が 22.4%、「作成途中」が 48.0%、「作成未着手」が 23.6%、「BCP を知らない」が 6.1%となっている。

サービス区分別では、入所系の「作成した」割合が高い。

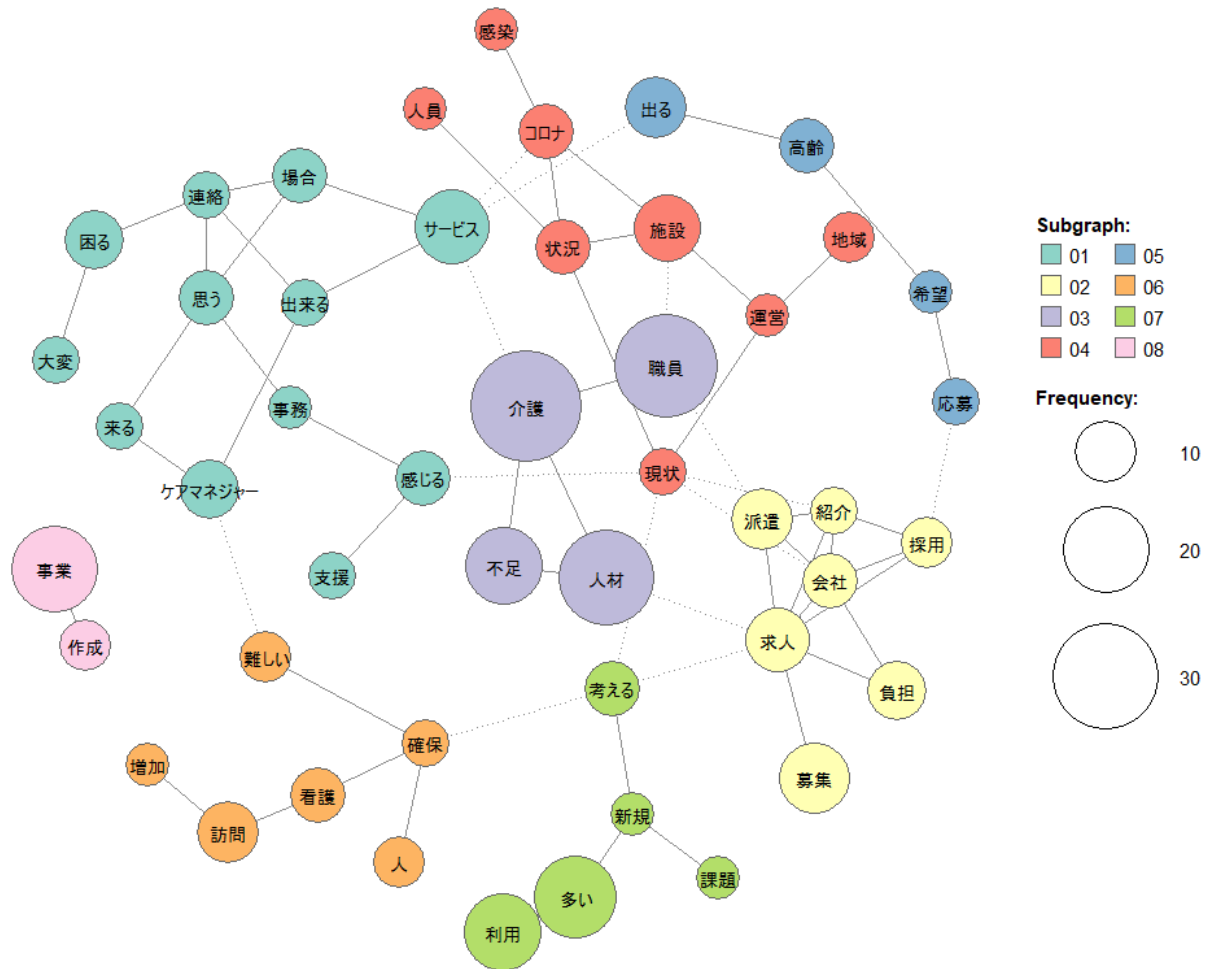
図表 476 【BCP(事業継続計画)作成の有無】



問 18 お困りごと等がありましたら、お聞かせください。

困りごとでは、75 事業所から意見があった。困りごとをテキストマイニングの手法を用いて出現頻度の多い言葉とその関係性を確認したところ、介護職員の人材不足に関する記述が多くなっている。

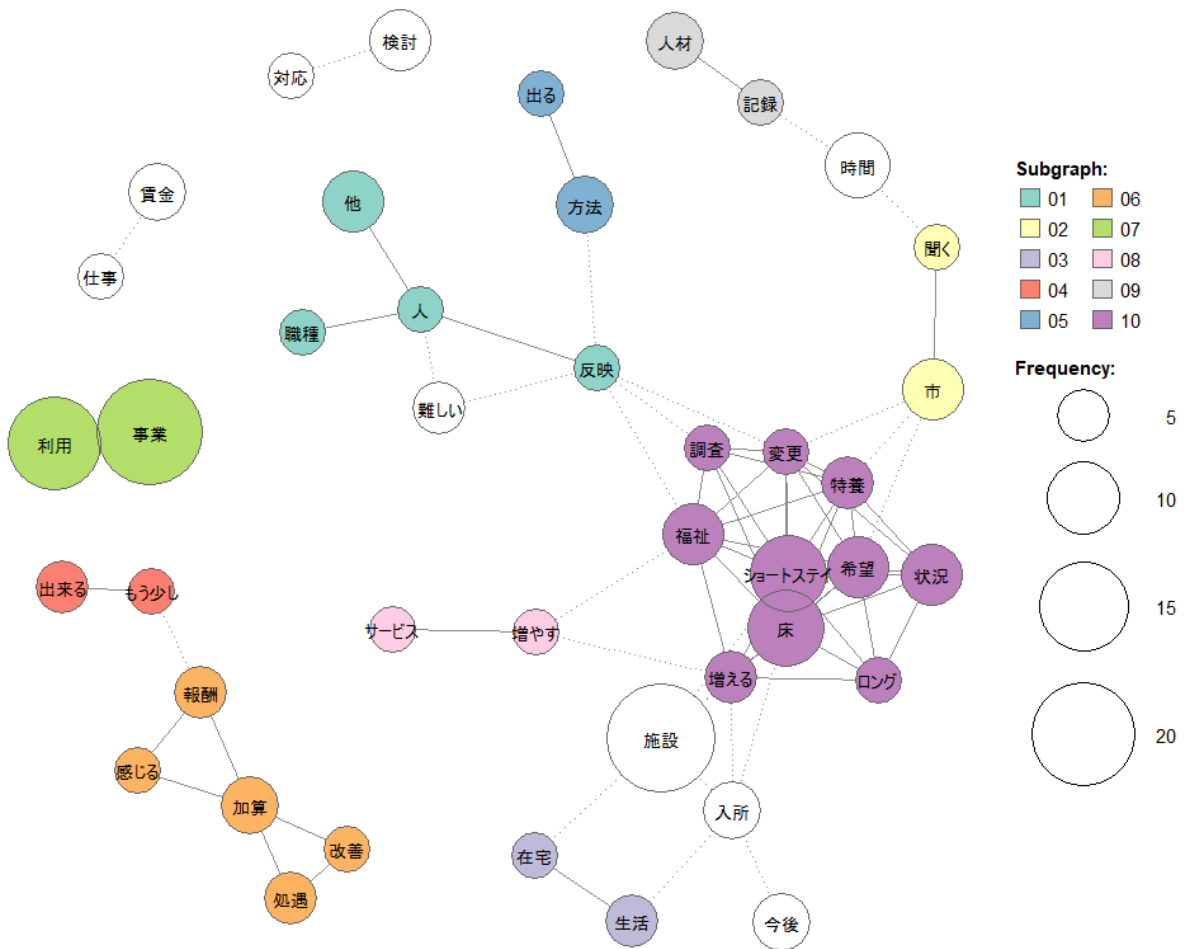
図表 477 【困りごと】



問 19 御要望・御提案等がございましたら、お聞かせください。

要望・希望では 46 事業所から意見があった。要望・希望をテキストマイニングの手法を用いて、出現頻度の多い言葉とその関係性を確認したところ、入所系施設におけるショートステイ用ベッドの恒久化に関する記述が多くなっている。

図表 478 【要望・希望】



問 20 その他御意見がございましたら、お聞かせください。

その他の意見では、28 事業所から意見があった。要望・希望をテキストマイニングの手法を用いて、出現頻度の多い言葉とその関係性を確認したところ、介護サービスの利用や医療との連携、雇用に関する記述が多くなっている。

図表 479 【その他意見】

